

平成 30 年 9 月 28 日

豊岡市議会

議長 嶋崎 宏之 様

人口減少対策等調査特別委員会

委員長 井垣 文博

## 委員会調査中間報告書

本委員会に付議された事件について、豊岡市議会会議規則第 45 条第 2 項の規定により、下記のとおり中間報告をいたします。

### 記

#### 1 付議事件

移住・定住促進、結婚・多子出産促進、子育て支援、産業振興などの人口減少・地域活性化対策に関する調査研究等

#### 2 重点調査事項

- (1) 移住・定住促進に関する事項
- (2) 結婚応援・多子出産支援、子育て支援に関する事項
- (3) 産業振興などの人口減少・地域活性化対策に関する事項

#### 3 委員会調査経過

本委員会は、平成 29 年 11 月の臨時会において設置され、委員の選出、正副委員長を互選し、今日までに委員会を 7 回開催し、重点調査事項に基づき調査・協議等を行った。

また、5 月には、管内行政視察を、7 月には、徳島県神山町の NPO 法人グリーンバレー及び岡山県奈義町を訪問し、「神山のまちづくりと創造的過疎」及び「人口減少対策の取組み、人口減少対策における芸術文化の果たす役割」について調査研修を実施した。

最後に開催した 9 月 26 日の委員会において、これまでの当局報告内容、委員会での協議内容及び委員会調査研修結果について精査を行い、今期当初に設定した重点調査事項について、本報告書をもって 1 年間の総括とすることとした。

#### 【委員会の開催経過】

開催・実施年月日	主な内容
平成 29 年 11 月 16 日	正副委員長を選出し、次回の委員会開催について協議を行った。
平成 29 年 11 月 21 日	当局から委員会所管事務について概要説明を受け、今後の調査

開催・実施年月日	主 な 内 容
	方法及び今期の重点調査事項について協議を行った。
平成 29 年 12 月 21 日	<p>当局から、戦略A（移住定住促進）、戦略B（結婚・多子出産促進）について、説明を受け、質疑を行った。</p> <p>個別事業としては、城崎国際アートセンターとの関わりについて説明を受け、質疑を行うとともに、今後の委員会調査の進め方について協議を行った。</p>
平成 30 年 3 月 20 日	<p>当局から、戦略A（移住定住促進）、戦略B（結婚・多子出産促進）について、説明を受け、質疑を行った。</p> <p>また、次回の委員会に向けて個別事業について協議を行った。</p> <p>さらに、管内行政視察研修に係る実施方法及び日程について協議を行うとともに、管外行政視察研修に係る視察先及び日程について協議を行った。</p>
平成 30 年 4 月 13 日	<p>当局から委員会所管事務について概要説明を受け、今後の調査方法及び重点調査事項について協議を行った。</p> <p>個別事業としては、合計特殊出生率について、また子育て支援について説明を受け、質疑を行うとともに、今後の委員会調査の進め方について協議を行った。</p> <p>また、管内、管外行政視察研修に係る視察先、視察内容及び日程について協議を行った。</p>
平成 30 年 5 月 30 日	<p>市内の現状と課題について、管内行政視察研修を行った。</p> <p style="text-align: right;">（下記 4 - (1) のとおり）</p>
平成 30 年 6 月 25 日	<p>当局から、戦略A（移住定住促進）、戦略B（結婚支援・多子出産応援）について、説明を受け、質疑を行った。</p> <p>個別事業としては、戦略的政策室より説明を受け、質疑を行うとともに、今後の委員会調査の進め方について協議を行った。</p> <p>また、次回の委員会に向けて個別事業等について協議を行った。</p> <p>さらに、管外行政視察研修に係る実施方法及び日程について協議を行った。</p>
平成 30 年 7 月 11 日 ～12 日	<p>徳島県神山町 NPO 法人グリーンバレー及び岡山県奈義町を訪ね、管外行政視察研修を行った。（下記 4 - (2) のとおり）</p>
平成 30 年 9 月 26 日	<p>当局から、戦略A（移住定住促進）、戦略B（結婚応援・多子出産支援）について、説明を受け、質疑を行った。</p> <p>個別事業としては、職員課よりキャリアデザインアクションプランの取組みについて説明を受け、質疑を行うとともに、今後の委員会調査の進め方について協議を行った。</p>

#### 4 管内・管外行政視察研修

##### (1) 市内を視察

市内の人口減少率の高い地域等を視察し、現況と課題を把握した。

人口減少が激しい地区、10代の若者の数が大きく減少している地区など9地区を視察した。その地区の戸数、住民活動、公共交通、空き家の状況等を、同行の市職員や地元委員から説明を受けた。行く先々では耕作放棄地が目立ち、危険空き家があり、スクールの停留所にさえもかなり歩かなければならないなど、生活環境の厳しさを目の当たりにした。しかしそこには、厳然とした住民の暮らしがある。その住民の暮らしをどのように守っていくのか、行政に突き付けられた課題を再認識した視察であった。

##### (2) 徳島県神山町 NPO 法人グリーンバレー及び岡山県奈義町を視察

7月11日に徳島県神山町 NPO 法人グリーンバレーを訪ね、「神山のまちづくりと創造的過疎について」研修を受け、また、翌12日には岡山県奈義町を訪ね、「人口減少対策の取組み」「人口減少対策における芸術文化の果たす役割について」をテーマに調査研修を実施した。(詳細は、行政視察調査報告書のとおり。)

#### 5 重点調査事項に基づく委員会調査

##### (1) 移住・定住促進に関する事項

委員会では毎回、地方創生総合戦略に基づく移住・定住促進に関する事項について、事業計画、実施状況、事業の検証評価などについて当局から説明を求め質疑を行った。特に新年度の特徴的事业である若い女性に係る検討調査、劇団青年団移転に係る対応、アーティスト・クリエイター移住推進に関する事、また、城崎国際アートセンターの取組みが移住・定住にどのような成果を出しているかなどについて当局の説明を求めた。地方創生総合戦略4年目を迎えており、その成果が求められている。

##### (2) 結婚応援・多子出産支援、子育て支援に関する事項

ハートリーフ戦略室から結婚応援・多子出産支援について30年度予算に向けた考え方について説明を求めるとともに合計特殊出生率について現状と課題などについて説明を求め質疑を行った。また、子育て支援について、こども育成課、健康増進課から新規事業を中心に取組み状況について説明を求め質疑を行った。

成果を出すため、さらなる支援策の充実が求められている。

##### (3) 産業振興などの人口減少・地域活性化対策に関する事項

UI ターン戦略室から、30年度事業の内容等について、特に新規事業である子育て中の女性の就労促進、ワークイノベーション戦略の策定、市役所キャリアデザインアクションプランの策定、金融機関と連携した事業、IT等新たな手法を活用した事業などについて説明を求め質疑を行った。また、戦略的政策室の概要について説明を求めた。

女性活躍社会の実現に向けて、そのスタートの年として成果を期待したい。